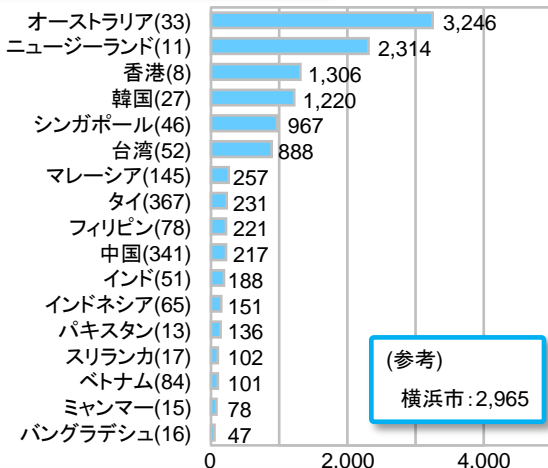


# 7. 平均賃金(1)

## 基本給月額 (全17カ国・地域 5職種)

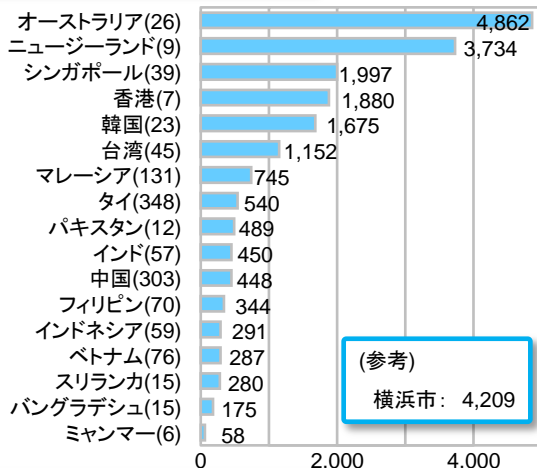
### 製造業・作業員

単位: 米ドル



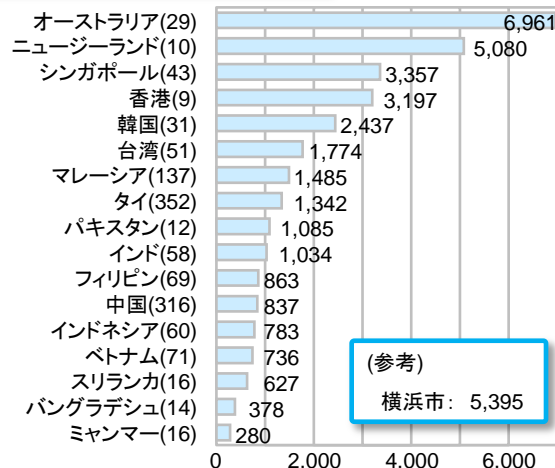
### 製造業・エンジニア

単位: 米ドル



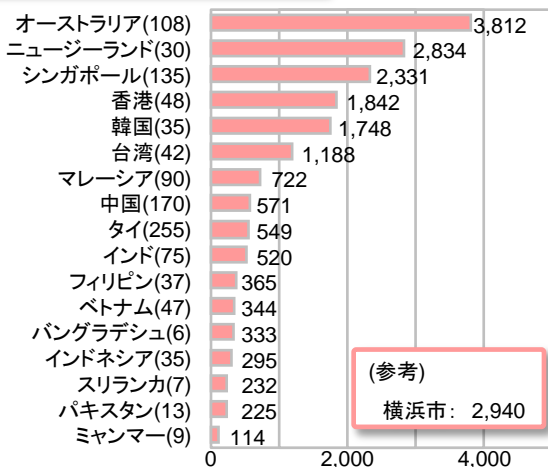
### 製造業・マネージャー

単位: 米ドル



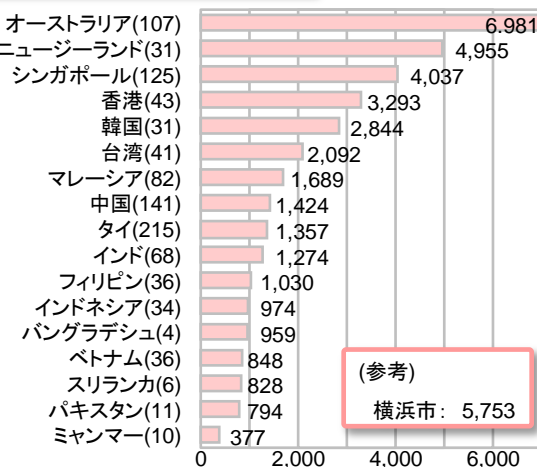
### 非製造業・スタッフ

単位: 米ドル



### 非製造業・マネージャー

単位: 米ドル



- オーストラリアの平均賃金(月額基本給)は、製造業・非製造業全てのクラスで最も高く、いずれも参考値である横浜市(別調査)の賃金を上回った。
- 中国の平均賃金は、非製造業ではオセアニア、アジアNIESおよびマレーシアに次いで高いが、製造業のエンジニアやマネージャークラスでは、タイやインドを下回っており、金額の乖離も大きい。
- ASEANにおいてはベトナムの賃金が最も低く、製造業・非製造業のいずれも、インドを除く南西アジア(パキスタン、スリランカ、バングラデシュ)と同程度のレベルにある。

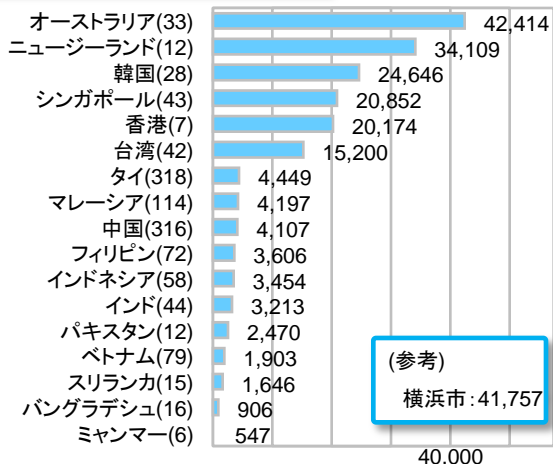
ベトナム、ミャンマー以外の国については、回答は自国通貨建てで入手。各職種の自国通貨建て賃金の平均値を2009年9月の平均為替レート(各国中央銀行発表)にて米ドルに換算した値。ベトナム、ミャンマーは、回答企業によって通貨が異なる(自国通貨建て/米ドル建て)ため、自国通貨建ての企業の回答を一旦、米ドルに換算の上、加重平均した値。ミャンマーについては現地からの実勢レートで米ドルに換算した値。  
(参考):横浜市「平成21年度職種別民間給与実態調査(4月実施)」より09年4月の円・米ドル為替の平均レートから作成。

# 7. 平均賃金(2)

## 年間実負担額 (全17カ国・地域 5職位)

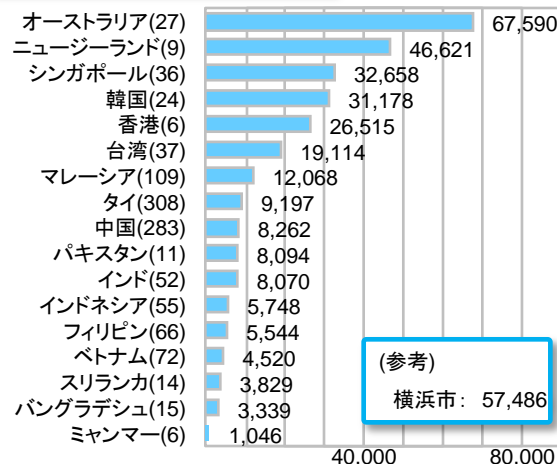
### 製造業・作業員

単位：米ドル



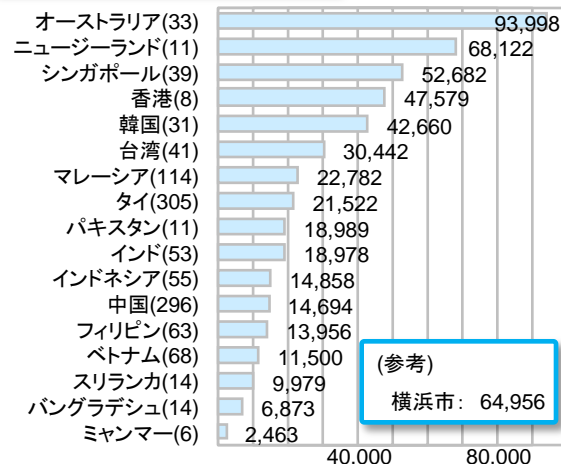
### 製造業・エンジニア

単位：米ドル



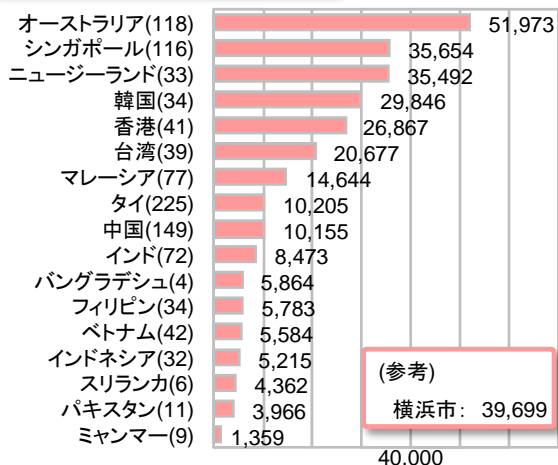
### 製造業・マネージャー

単位：米ドル



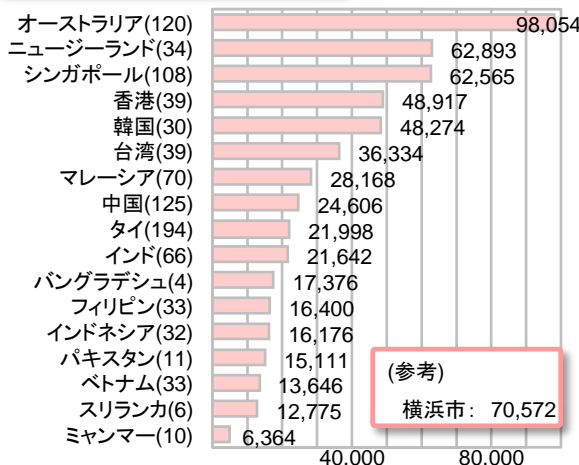
### 非製造業・スタッフ

単位：米ドル



### 非製造業・マネージャー

単位：米ドル



- 製造業・非製造の全てのクラスでオーストラリアの平均賃金が最も高い。また、ニュージーランドおよびアジアNIEsにおいて、全クラスで相対的に高い傾向が見られる。
- 2008年度調査結果と比較すると、中国およびインドネシアでは、製造業・非製造業の全クラスで平均賃金が上昇。
- ベトナムおよびインドでは、製造業の全クラスで平均賃金が上昇。特にインドは、前年比15~21%と上昇幅が大きい。一方の非製造業では概ね横ばい。
- タイでは、製造業・非製造業の全クラスで平均賃金が下落。とりわけ製造業の下落幅が大きい(マイナス11%~24%)。

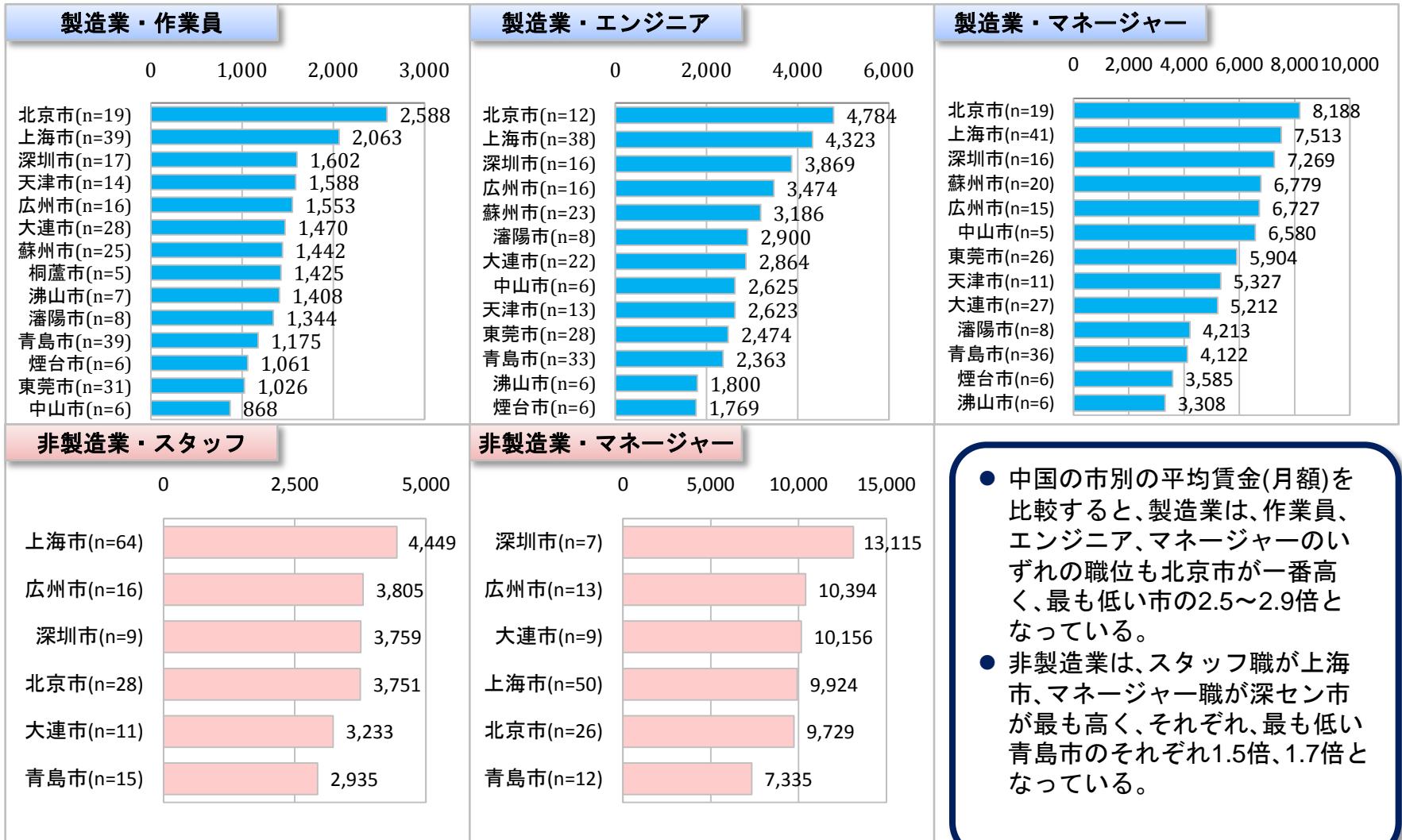
ベトナム、ミャンマー以外の国については、回答は自国通貨建てで入手。各職種の自国通貨建て賃金の平均値を2009年9月の平均為替レート(各国中央銀行発表)にて米ドルに換算した値。ベトナム、ミャンマーは、回答企業によって通貨が異なる(自国通貨建て/米ドル建て)ため、自国通貨建ての企業の回答を一旦、米ドルに換算の上、加重平均した値。ミャンマーについては現地からの実勢レートで米ドルに換算した値。

(参考)：横浜市「平成21年度職種別民間給与実態調査(4月実施)」より09年4月の円・米ドル為替の平均レートから作成。

# 7. 平均賃金(3)

## 基本給月額 (中国 市別 5職位)

(単位:元)



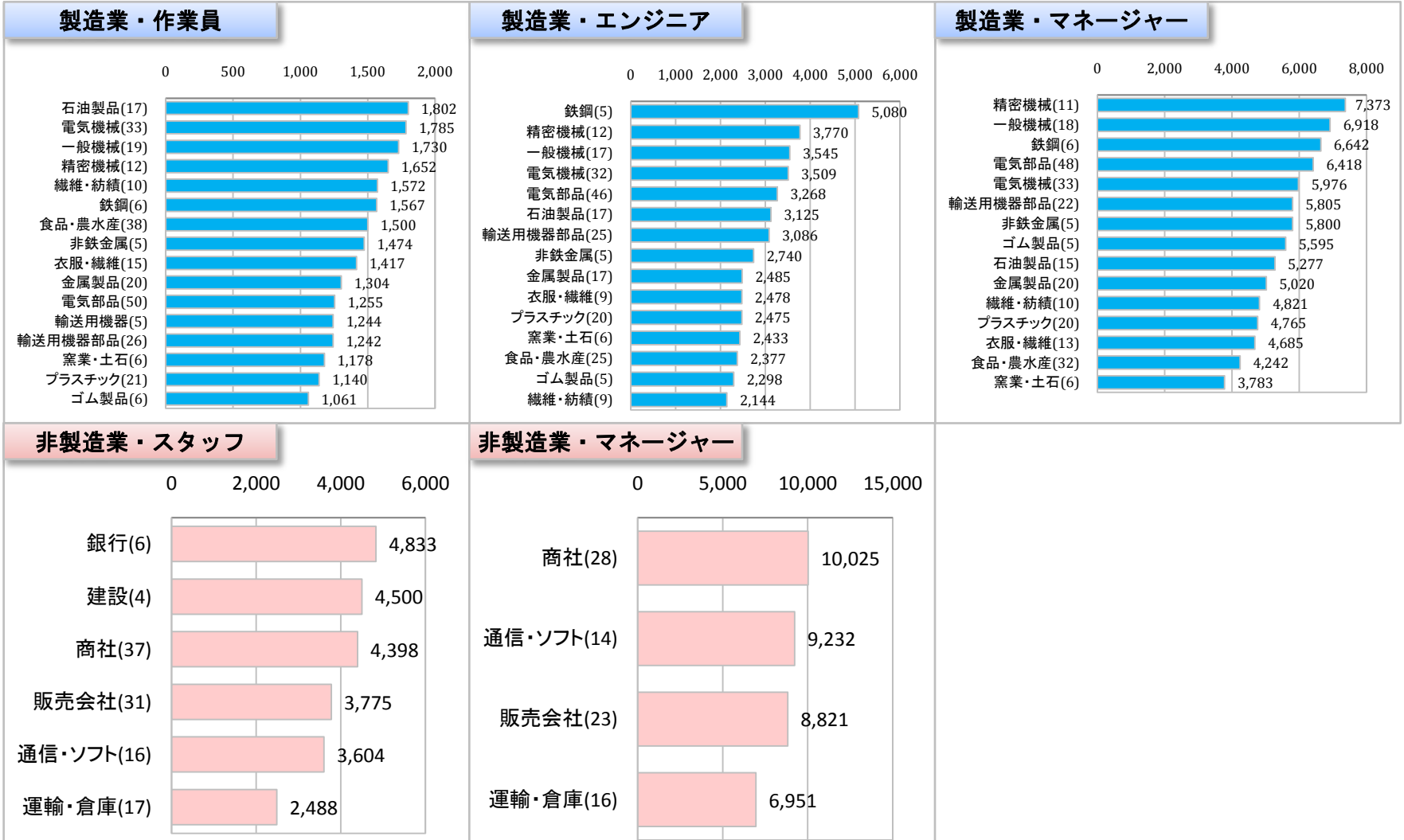
- 中国の市別の平均賃金(月額)を比較すると、製造業は、作業員、エンジニア、マネージャーのいずれの職位も北京市が一番高く、最も低い市の2.5~2.9倍となっている。
- 非製造業は、スタッフ職が上海市、マネージャー職が深セン市が最も高く、それぞれ、最も低い青島市のそれぞれ1.5倍、1.7倍となっている。

(注)各職位、サンプル数5以上の市のみ掲載。異常値棄却後の平均値。

# 7. 平均賃金(4)

## 基本給月額 (中国 業種別 5職位)

(単位:元)

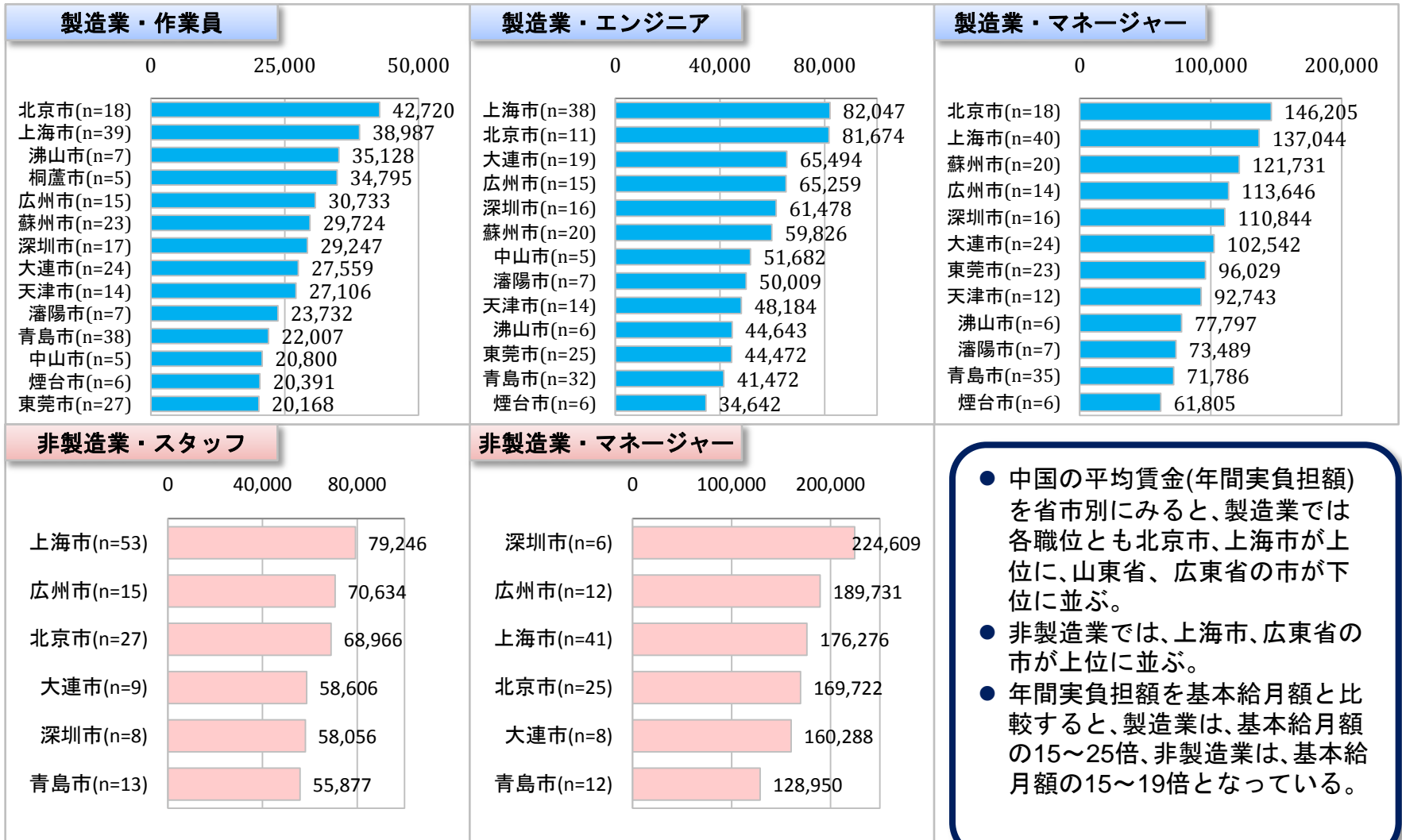


(注)各職位、サンプル数5以上の業種のみ掲載。異常値棄却後の平均値。

# 7. 平均賃金(5)

## 年間実負担額 (中国 市別 5職位)

(単位:元)



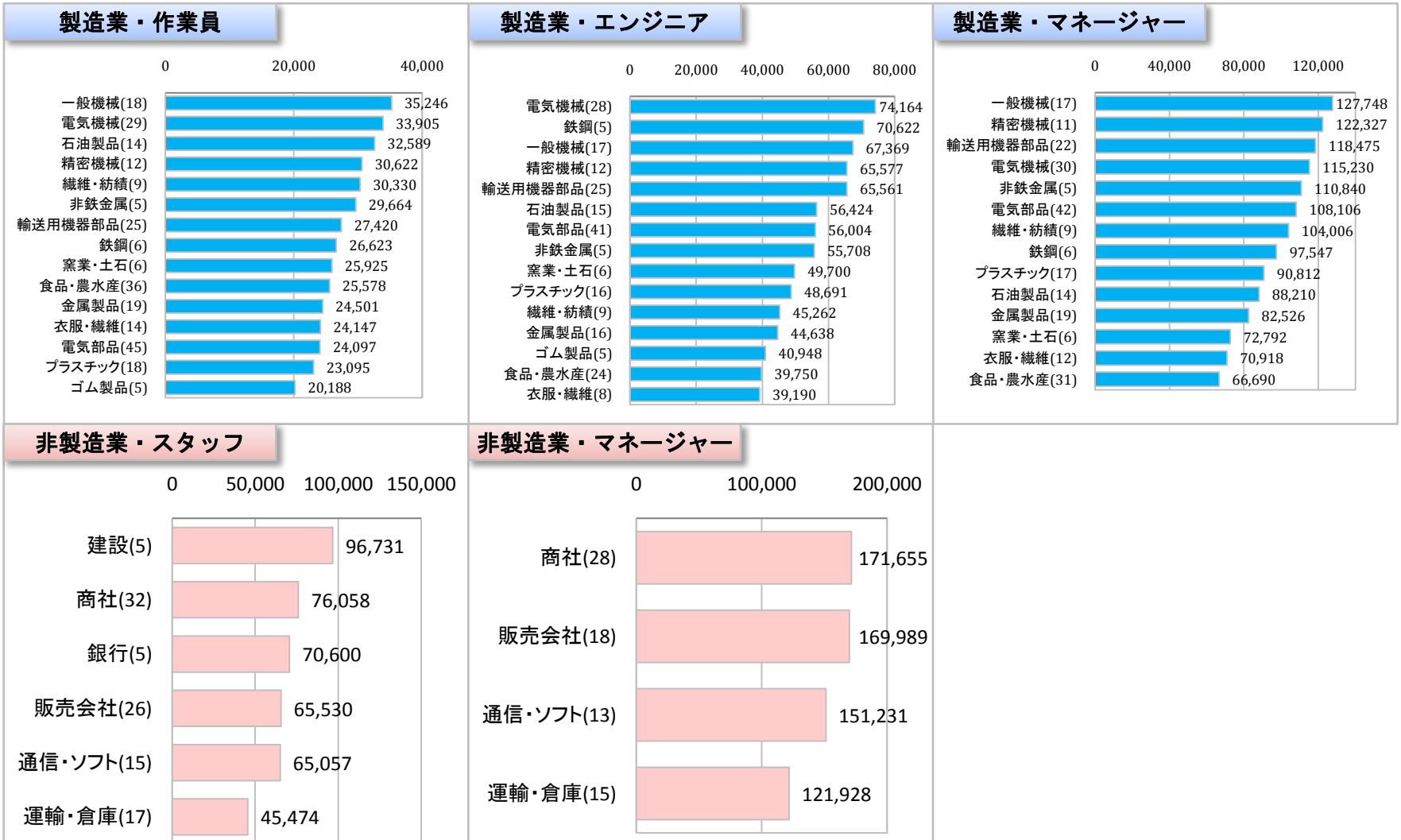
- 中国の平均賃金(年間実負担額)を省市別にみると、製造業では各職位とも北京市、上海市が上位に、山東省、広東省の市が下位に並ぶ。
- 非製造業では、上海市、広東省の市が上位に並ぶ。
- 年間実負担額を基本給月額と比較すると、製造業は、基本給月額の15~25倍、非製造業は、基本給月額の15~19倍となっている。

(注)各職位、サンプル数5以上の市のみ掲載。異常値棄却後の平均値。

# 7. 平均賃金(6)

## 年間実負担額 (中国 業種別 5職位)

(単位:元)



(注)各職位、サンプル数5以上の業種のみ掲載。異常値棄却後の平均値。